



# 学校だより



小川小学校

○ 考える子 ○ 優しい子 ○ 元気な子

令和3年5月31日 No.8

## 《什の掟(じゅうのおきて)～ならぬことはならぬものです～》

江戸時代に会津藩と呼ばれている地域がありました。会津藩では10歳になると日新館という、現在の学校のようなところに入って学問や武芸を習うことになっていました。まだ日新館には入れない6歳から9歳までの藩士の子供たちは、10人前後で集まりを作っていました。この集まりのことを「什(じゅう)」と呼び、その中の一番年上の方が什長になりました。

什では毎日順番に仲間の家に集まり、什長が次のような「お話」を一つ一つ申し聞かせ、すべての「お話」が終わると、昨日から今日にかけて「お話」に背いた者がいなかったかどうかの反省会を行ったそうです。その「お話」の内容は、

- － 年長者の言ふことに背いてはなりません。
- － 年長者には御辞儀をしなければなりません。
- － 虚言(うそ)をいふ事はなりません。
- － 卑怯な振舞をしてはなりません。
- － 弱い者をいぢめてはなりません。
- － 戸外で物を食べてはなりません。
- － 戸外で婦人と言葉を交へてはなりません。



というようなもので、どの町の「什の掟」も必ず最後は「ならぬことはならぬものです」という言葉で締めくくられていたそうです。

そして、この「什の掟」を守らなかった場合は、親と共に仲間にお詫びをしなければなりません。たとえお詫びをしても、改心した様子が見られない場合は、「ならぬことはならぬものです」と決して許してもらえなかったということです。「ならぬことはならぬものです」という言葉には、人として生きるためには、理屈や言い訳が通らない絶対にやってはいけないことがあるという意味が込められています。

礼儀がないこと、嘘をつくこと、弱い者いじめをすることなどは、人間として恥ずかしいことだと戒められています。この「什の掟」で感心することは、会津藩の大人から言われて作ったのではなく、会津藩の子供たちだけで作って実行していったのです。

什の掟は、現代社会にはそぐわないものもあると思われますが、物事を判断したり、行動したりするとき、家庭の基準や個人の基準が必ずあるはずで

す。会津藩の子供たちのように、「嘘をつかない」という基準もあります。「自分がされて嫌なことは他人には決してしない」という基準もあると思います。基準は、家庭や人によって違うと思います。



でも、大切なことは、それぞれの基準が周囲の人を幸せな気持ちにし、自分も高めるような基準になっているかだと考えます。そのような基準を私たち一人一人がしっかりともち、その基準を破りそうになったときは、「ならぬことはならぬものです」と自分自身を抑えられるようになることが、とても大切です。

(裏面に続きます)

子供たちは、これから多くの人と関わりながら生きていきます。ですから、いつも物事が自分の思いどおりにいくとは限りません。小学3、4年生あたりから『反抗期』を迎える子供もいます。この時期は、保護者の皆さんも子育てについてさまざまな悩みを抱える時期でもあります。しかし、このような時期だからこそ、それぞれのご家庭でしっかりとした基準を定め、「ならぬことはならぬものです」の教えを再確認してほしいと思います。

どのような時であっても、周囲の人のことを考え、我慢すべき時は我慢し、友達と心を通わせながら楽しい日々を過ごしてほしいと思います。

### 《個人面談、お世話になりました。ありがとうございました》

先週からの個人面談、大変お世話になりました。お忙しい中に時間を割いて来校いただき、ありがとうございました。今回家庭訪問ができませんでしたが、個人面談では学校生活では見えない、ご家庭でのお子さんの様子を知り、また保護者の方の思いや願い、困り感等をお聞きすることによって、日々の指導に生かすためにあります。伝えきれなかったこと等がありましたら、遠慮なく担任にお伝えください。

### 《「新体力テスト」に挑戦中です》

5月6日から各学年の体育の授業の中で、「新体力テスト」の種目に取り組んでいます。「新体力テスト」の目的は、①子供たちの体力や運動能力の現状を把握すること。②子供たち自身が自分の体力や運動能力に深い関心を持ち、長けている能力や不足している能力を知ること。③「新体力テスト」の結果が今後の生活に生かせるようにするものです。

種目には、握力（筋力）、反復横とび（俊敏性）、20mシャトルラン（全身持久力）、50m走（走力）、立ち幅とび（跳力）、上体起こし（筋力・筋持久力）、長座体前屈（柔軟性）、ソフトボール投げ（投力）があります。

本校児童の体力面で課題の1つがソフトボール投げ（投力）です。昔は休み時間でドッジボールをしたり、放課後はコマ回しをしたりと投げる経験がありましたが、今は投げるという経験が少なく感じます。そこで、体育の中で投げる学習を多く取り入れています。

「知・徳・体」のバランスのとれた子供を育成することが、学校教育の使命です。今回、全校の子供たちがテストの種目に取り組む姿を見て、各学年、素晴らしい「体力・運動能力」をもつ子供たちを発見し、感動しました。子供たち一人ひとりが持つ「よさ」を引き出し、伸ばしていけるように、今後も全職員で指導していきます。

この成果が表れるよう楽しみながら取り組んでいます。結果は2学期にお知らせします。



### 《2年生がリーダーになり学校探検を行いました》

2年生の生活科の学習で、1年生に学校を紹介する学習があります。5月26日に1年生と一緒に学校探検を行いました。2年生は1年生をリードしてがんばっていました。回れた教室には学習カードにシールを貼り、多くシールを貼れてとてもうれしそうでした。

